

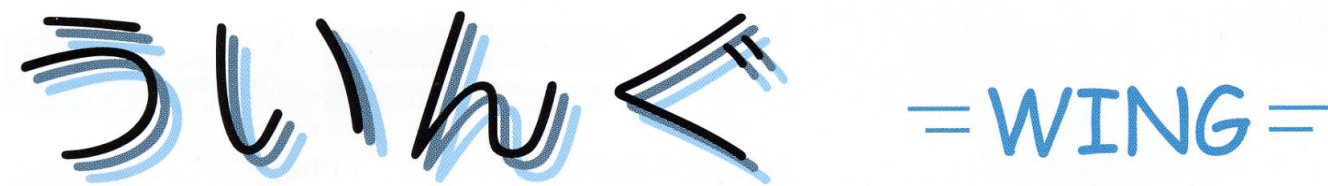
美容奉仕活動が終了します

昭和52年(1977年)以来、40年にわたってボランティアで活動していただいた美容奉仕の会が、今年で終了することになりました。
現在は9名の美容師さんによって行われている奉仕活動は、12月13日(火)が最後になります。

美容師奉仕活動は昭和52年(1977年)の7月8日に始まり、今年で40年目を迎えました。
当時は、美容師さんは来ていたのですが、女性の髪はカットしていなかったそうです。美容奉仕の会のリーダーである外崎昭彦さんはそれを見て、美容師の必要性を感じ、このボランティアを始めました。
この考えに共感した外崎さんの奥様の呼びかけで、美容師の集まりである「あしたばの会」が中心となり、千葉病院での美容師によるボランティア活動が始まりました。
その後、正式に「船橋美容師ボランティア奉仕の会」という名称となりました。
40年にわたる活動、ありがとうございました。
なお、今後の院内美容については、現在当院看護部を中心に検討中です。



美容奉仕活動の様子(平成6年頃)



千葉病院広報紙 2016.冬号(第55号) 発行者 医療法人同和会 千葉病院

ふえにつくす開設40周年

「ふえにつくす」は、昭和51年(1976年)に、患者さんの自助活動の場として開設されたカナディアン・ハウス・タイプの建物です。今年で開設40周年を迎えました。11月1日には記念コンサートが開かれ、盛況に終わりました。



「ふえにつくす」とは…

病棟とは異なる空間での、休息と娯楽、活動と社会復帰を目的として、【患者さんのための、患者さんの自主活動による、『患者の家』】として、患者さん有志による「患者の家建設委員会」が中心となって、病院の敷地内の一角に建てられました。

この当時、わが国では、病棟の鉄格子を撤去したり、閉鎖病棟を少なくするなど、「精神科病棟の開放化運動」が全国で熱心に行われており、当院も仙波恒雄院長(当時)のもと、開放化の先端として、医療行為対象外の施設を建設することになりました。

写真上・左は、開設当時のふえにつくす
写真下は、現在のふえにつくす

～ 最善の行動と信頼 ～

医療法人 同和会 千葉病院

【病院概要】

- 診療科
精神科・神経科・歯科(要予約)
- 院長
小松 尚也
- 外来診療時間
平日9:00～12:30(月曜日のみ9:30～12:30)
土曜日9:00～12:30(午後は予約制)
- 休診日
木曜日・日曜日・祝祭日・6月1日(創立記念日)
- 所在地
〒274-0822 千葉県船橋市飯山満町2-508
TEL:047-466-2176 FAX:047-466-7503
ホームページ: //www.chiba-hp.on.arena.ne.jp
- 千葉県認知症疾患医療センター
TEL:047-496-2255 FAX:047-496-2256



千葉病院 患者様の権利

- ①個人として、人格およびプライバシーが尊重されます。
- ②安全な環境で、可能な限りの良質な医療が提供されます。
- ③職員のかいなる行為に対しても説明を求め苦情を申し立てることができます。
- ④精神保健福祉法に則った医療および処遇が保障されます。
- ⑤職員から思想・信条・宗教および個人的関係は強制されません。
- ⑥個人情報保護されます。

発行:医療法人同和会 千葉病院
発行日:平成28年12月1日
住所:千葉県船橋市飯山満町2-508
Tel 047-466-2176 Fax 047-466-7503
URL://www.chiba-hp.on.arena.ne.jp/

編集後記

当院のランドマークとも言えるソーシャルクラブハウス「ふえにつくす」が、開設40周年を迎えました。今でこそ、患者さんがボランティアで活動する施設は珍しくありませんが、40年前に思い立ち活動した患者さんや、それを支援したスタッフ、理解して協力いただいた地域の皆様に、改めて敬意を表します。

11月1日(火)にふえにつくす40周年記念コンサートが開催されました。

今回の記念行事は『いつもの店内で、コーヒーを飲みながら音楽を楽しんでもらい、日ごろの感謝を伝えよう』とメンバーが主体となって企画、運営しました。

音楽はメンバーの知人でプロミュージシャンの児玉昌樹さん率いるAcoustic Toy-Boxの皆さんに演奏をしていただきました。スピッツ「空を飛べるはず」やディーブパープル「Smoke On The Water」など、バラードからロックまで、すばらしい演奏でした。
演奏の後には、担当である松本先生より記念のお言葉をいただきました。午前の部、午後の部合わせて63名の方々が来場し、大盛況となりました。

ふえにつくすの意義を振り返り、50年、60年と歴史を刻んでいこうとメンバー一同、気持ちを新たにしたい一日となりました。これからも変わらぬご支援をお願いいたします。



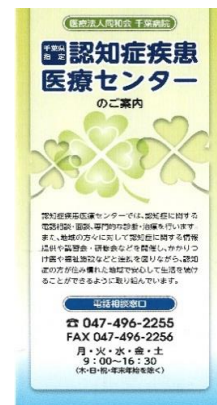
認知症疾患医療センター

精神保健福祉士(認知症センター担当) 樋口真佐子

平成26年10月より、同和会千葉病院に、認知症疾患医療センターが併設されました。「認知症疾患医療センター」とは、地域における認知症の専門医療機関として、早期発見、診断・治療、またかかりつけ医や介護施設との連携の中心となる施設のことです。千葉県内では医療圏ごとに開設されており、千葉病院は、心と会八千代病院(八千代市)とともに、東葛南部地区(船橋市・八千代市・市川市など)の認知症疾患医療センターとして開設・運営しております。連載第2回目は、主に外来相談について、センター担当の樋口真佐子 精神保健福祉士が執筆いたしました。

認知症疾患医療センターの相談業務は、精神保健福祉士9名が日替わりで行っています。専用電話にかかってくる受診相談の対応が中心ですが、面談での相談や、受診に繋がり通院や入院になった方の相談にも対応しています。

電話は、ご家族からが7~8割、他にご本人、支援機関、病院、施設などからいただいています。対象の方は物忘れなどの初期の症状がみられる方から徘徊や暴力、大声のある方までさまざま、検査・外来通院での服薬調整・入院など、受診時に必要な対応もその方に合わせて行っています。ご本人が受診を拒否されており、ご家族や支援者が困っているというご相談もいただきます。そういう方には「家族相談」(医師の場合は自費、精神保健福祉士の場合は無料)という方法もあります。



いずれにせよ、相談業務担当はスムーズに受診につなげることを、また相談内容に応じて必要な支援をしたり支援機関をご紹介することを心掛け、日々対応させていただいています。受診まではしなくて良いという場合でも、ご家族や身近な方など気になる方がおられましたら、また、ご自分のことでも心配なことがありましたら、お気軽にご相談いただければ幸いです。

外来満足度調査を行いました

年に一度、5月に外来待ち時間調査を、7月に外来満足度調査をしています。多くの方に満足と評価を受けておりますが、まだまだ課題も多くあり、皆様に快適な外来環境を提供できるよう、これからも努力していきたいと思っております。今年も外来待合ロビーに調査結果を掲示しました。



- Q. 診察までの待ち時間について
とても長い...12%、長い...26%、普通...45%、気にならない...12%、全く気にならない...5%、回答なし...0%
- Q. プライバシーへの配慮はされているか
とても配慮されている...14%、配慮されている...63%、どちらともいえない...17%、配慮されていない...4%、とても配慮されていない...0%、回答なし...2%
- Q. 外来スタッフの接遇について
とても満足...33%、満足...37%、普通...27%、不満...3%、とても不満...2%、回答なし...1%

注意すべき精神科患者さんの身体疾患兆候 その1

千葉病院医師 小暮 正信

精神科患者さんの中には、精神症状のために不調を訴えることが苦手あるいはできない方、または普段から心気症状が中心で多訴的な方等があり、そのような場合はその背景に存在するかもしれない身体疾患を見逃してしまう危険性が高まります。

そのため、比較的出現頻度の高い身体疾患をここで再確認しておきましょう。これらの兆候を知っておくことは、医師や看護師のみならず、OTやPSW、病院事務職、そして患者さんのご家族など、患者さんと接する機会のある全ての方において意味のあることと思われま。

①水中毒
 <精神症状や向精神薬の副作用による口渴 ⇒ 病的多飲水 ⇒ 希釈性の低ナトリウム血症>
 【頭痛、嘔気、意識障害、けいれん発作などを認める！ 最近多飲水、多尿、頻尿などの行動が増えている！ 急な体重増加がある！】
 血液検査で低ナトリウム、尿検査で比重低下など。
 急性発症時は頭部画像検査で脳浮腫がみられる。
 横紋筋融解症を併発した場合は、急性腎不全を防ぐために過度の水分制限は禁である。

②悪性症候群
 <急激なドーパミン受容体遮断が関連か？ 詳細な機序は不明>
 【38度以上の発熱、筋強剛、筋肉痛や筋力低下、自律神経症状(頻脈、頻呼吸、多汗など)、意識障害がある！ 最近抗精神病薬の投与開始、増量あるいは抗パーキンソン病薬の減量、中止などがある！】
 血液検査でCK[クレアチンキナーゼ]上昇、白血球上昇、筋原性酵素(CK、LDH、AST、ALT)上昇、尿検査でミオグロビン尿など。
 非定型抗精神病薬とSSRIの併用で発症しやすくなるとの報告がある。

当院から地域へ 地域から当院へ

当院では、地域の障害者活動施設とも連携を密にしています。なかでも、「船橋こころの福祉協会」が運営する、障がい福祉サービス事業所『こんぼーる』は、毎月当院で【出張販売】を行っております。また、船橋市地域活動支援センター オアシスとは、当院を利用して【オアシスカフェin千葉病院】を開催し、当院患者さんとの交流を図っております。このたび、こんぼーる15周年、オアシス20周年を記念するイベントがあり、当院作業療法の患者さんとスタッフが参加しました。

オアシス20周年・こんぼーる15周年記念行事『みんなのこころメッセージ~元気のタネを育てよう~』
 11月11日、地域生活を支援する事業所のイベントへ患者様数名と職員で参加して来ました。当事者からのメッセージは、自身が現在に至るまでの苦悩や辛さ、喜び、頑張ってきたことを包み隠さず自身の言葉で語り、今後の希望を前向きに話され伝わりやすい内容でした。
 当院より参加された患者様は終始話に聞き入り、多くを学び元気をもらったようです。生き生きと感想を話す姿が印象的でした。



